

平成三十年度 江戸川看護専門学校 推薦入学試験

国語

注意

1. 指示があるまで開かないこと。
2. 試験時間は五十分とする。
3. 受験番号、氏名を解答用紙に正確に記入すること。
4. 解答はすべて解答用紙に記入すること。
5. その他の注意事項は、試験監督の指示に従うこと。

一

次の①～⑩の各文中の傍線部のカタカナを漢字にせよ。

- ① 台風による被害はジンダイだ。
- ② 国家の機構も整わず、カンリヨウも組織されていなかった。
- ③ 清廉ケツパクだ。
- ④ 「着こなし」のシナン役として重宝される。
- ⑤ あの人のセンパクさには呆れかえる。
- ⑥ 前言をテツカイする。
- ⑦ 外見のビシユウにとられない。
- ⑧ 市内をジュンカンするバス。
- ⑨ 名作をモホウする。
- ⑩ 第三幕をカツアイして上演する。

二

次の漢字の読みを平仮名で答えよ。

- ① 欺く
- ② 携える
- ③ 唆す
- ④ 施す
- ⑤ 諭す
- ⑥ 久遠
- ⑦ 解熱
- ⑧ 出納
- ⑨ 付度
- ⑩ 斟酌

三

次の①～⑤の言葉の意味を選択肢から選び、記号で答えよ。

- ① アフォリズム
- ② オートドックス
- ③ コンセプト
- ④ アイロニー
- ⑤ カオス

- ア 考え方
- イ 過程
- ウ 格言
- エ 皮肉
- オ 混沌
- カ 正統的なさま

四

次の傍線部のうち文法的な性質が他と異なるものを一つ選び、記号で答えよ。

- ①
ア 暗闇の中をおそろるおそろる進んだ。
イ 彼女は不機嫌そうにすたすたと歩いて行ってしまった。
ウ 赤ちゃんがベッドですやすや寝ている。
エ 長年愛用している辞書はぼろぼろになってしまった。
オ 雪がしんしんと降り積もる。

- ②
ア 生きてさえいればまた会うこともあるだろう。
イ 彼の表情には余裕さえ感じられた。
ウ この坂さえのぼってしまえば後は下り坂だ。
エ この問題さえ解決すればすべてがうまくいく。
オ そのことに気がついてさえいれば心配はない。

- ③
ア 真実をきかないままではいられない。
イ 辛い目にあっても悲しみはおぼえない。
ウ 水がなければどんな命も育てられない。
エ 足下がおぼつかない。
オ 明日も暑さは和らがないそうだ。

- ④
ア うまく話せるようになった。
イ 一緒に旅行に行けるのは楽しみですだ。
ウ うわさが知れるのはあつという間だ。
エ 納得のいく作品が描けるまで頑張った。
オ こんなに早く着けるとは思わなかった。

五

次の各文の敬語の使い方として適切でないものをそれぞれ一つずつ選び、記号で答えよ。

- ①
ア 昨日はいつもと違う服をお召しになっていました。
イ 宴会でおかけになる席を特別に用意いたします。
ウ 新しい年をお越しになってからお元氣そうです。
エ 今日お見えになるとは知らずに失礼いたしました。
オ おいでのなるのはいつも月曜日です。

- ②
ア 父が先生にご説明すると申し上げています。
イ どうぞお召し上がりになってください。
ウ 明日、お宅に伺ってもよろしいですか。
エ 先生が私にご遠慮なさることはございません。
オ 先生方に来ていただけると助かります。

- ③
ア コーヒーと紅茶、どちらをいただかれますか。
イ 番号順にお呼びいたしますのでお待ちください。
ウ この電車にはご乗車になれません。
エ 先生にはご健勝のことと存じます。
オ どうぞお元氣でお過ごしくください。

- ④
ア ご質問はございませんか。
イ 先生から先方に手紙をお書きになってください。
ウ ご注文は何になさいますか。
エ ご紹介させていただきます。
オ どうかいたしましたか。

六 次の文学史について各設問に答えよ。

① 「言文一致運動」と関わりの深い作家と作品の組合せとして最も適切なものを一つ選び、記号で答えよ。

- ア 芥川龍之介 『鼻』
イ 森鷗外 『舞姫』
ウ 二葉亭四迷 『浮雲』
エ 太宰治 『人間失格』
オ 坂口安吾 『墮落論』

② 作者と作品の組合せで誤っているものを一つ選び、記号で答えよ。

- ア 川端康成 『伊豆の踊り子』
イ 中島敦 『山月記』
ウ 堀辰雄 『風立ちぬ』
エ 田山花袋 『田舎教師』
オ 樋口一葉 『一房の葡萄』

③ 夏目漱石の作品を次からすべて選び、記号で答えよ。

- ア 金閣寺
イ 破壊
ウ 坊っちゃん
エ こころ
オ たけくらべ
カ 檸檬
キ 細雪
ク 夢十夜
ケ 天平の甍
コ 小僧の神様

④ 森鷗外の作品を次からすべて選び、記号で答えよ。

- ア 阿部一族
イ 桜の森の満開の下
ウ 日本文化私観
エ 高瀬舟
オ 山椒大夫
カ 痴人の愛
キ 破戒
ク にごりえ
ケ 斜陽
コ 地獄変

七

次の文章を読んで後の設問に答えよ。

句読点も一字として数えるものとする。

著作権の関係により掲載不可

著作権の関係により掲載不可

著作権の関係により掲載不可

(柳澤桂子「医学の進歩と生命」による)

*ハンチントン病Ⅱ脳細胞が徐々に失われていく病気

問一 波線部 i ~ iv のカタカナを漢字にし、漢字は読みを平仮名で答えよ。

問二 空欄 ~ に入れるのに最も適切な語をあとの選択肢から選び、記号で答えよ。

ア	もちろん	イ	また	ウ	ところで
エ	けれども	オ	まず	カ	もし

問三 傍線部①「延命治療」とあるが、筆者は「延命治療」のどのような点が問題となっているのか。解答欄の「こと」に続くかたちで、本文中から二十五字以内で抜き出して答えよ。

著作権の関係により掲載不可

問四 傍線部②「ほんとうの意味でのインフォームド・コンセント」と

あるが、筆者が考える「ほんとうの意味でのインフォームド・コンセント」とはどのようなことか。「理解」「納得」という語を必ず用いて、三十五字程度で説明せよ。

問五 傍線部③「豊かな資源」について。

(1) ということが「豊かな資源」になるといつのか。文中から二十字で抜き出して答えよ。

(2) (1) によって得られる「豊かな資源」とはどのようなことか。文中から二つ探し、六字と八字で抜き出して答えよ。

問六 傍線部④「介護の社会化」とはどのようなことか。その内容を具体的に述べている部分を本文中から三十字以内で探し、始めと終わりの四字を答えよ。(句読点も含む。)

